

中学校社会科公民的分野指導プログラム

学校名 釜石市立釜石第一中学校

対象学級 3年(男子25名 女子13名 計38名)

指導者 齊藤雅彦

単元名 「民主政治と政治参加(我が国の政治)」

単元設定の理由

1 教材観

日本は法治国家である。国は法律によって動いている。社会にはルールがあり、それを守ることによって多くの人が幸せに生活できること、我々の権利は、先人の努力によって保障されるようになり、現在では法によって保障されていることを生徒は学習してきている。その学習をもとにこの単元では、法は、我々が自分の意思の代表者として選んだ国会議員によってつくられ、国会から指名された内閣総理大臣を中心とする内閣が実行し、裁判所が法にある権利を保障することを学習する。このしくみによって、我々の豊かで自由な生活が守られていること、これからも守り、発展させるために、このしくみの理解が必要であり、選挙で意思を表明しこのしくみを大切にしなければならないことを、日本国民として実感させなければならない。民主的な国家社会の形成者として必要な公民的資質を育てることが、中学校学習指導要領社会科の目標の中に述べられている。その中心的な内容がこの単元であると考えられる。

学習指導要領公民的分野の目標では、「個人と社会とのかかわりを中心に理解を深める」ことがあげられている。民主主義社会に生きる人間を育成するという意味で、自分とのかかわりを意識させ、生活に置き換えてとらえさせながら、この単元の学習内容の理解を深めることは、大変重要であると考えられる。

2 生徒観

この単元の学習に対する生徒の意識を調査してみた。現在の3年生の生徒に行った実態調査の結果では、「あなたは、政治について学習してみたいと思いますか。」という問いに対して、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」をあわせて62.1%であった。この学習に対する消極的な態度がうかがえる。その理由は、「興味がない」が圧倒的に多く、次いで「面倒くさい」「覚えられない」「自分には関係ない」「難しそう」という回答がみられた。

実態調査の別な項目で、日常生活での政治に関する情報収集の方法や情報を得ようとする意欲について調べた。その結果、新聞からよりもテレビから情報を得る生徒が多かった。また、「身近な生活で政治との関係を感じるのはどんなときですか。」という質問に対し、「テレビや新聞でニュースをみたとき」「選挙のとき」と回答した生徒が約50%ずつ(複数回答)と多かった。

この単元での学習内容は前に述べたように大変重要であるが、生徒にとって直接かかわることが少なく、一つ一つの用語の意味をとらえるのが難しい内容である。「生徒にとって直接かかわることが少ない」のは、地理的に遠い場所で行われていること、20歳以上にならないと参加する権利が得られないこと、道路が造られたり、公共施設が造られたりして自分たちの生活が支えられていることを政治によるものだと思いきにくいことが原因と考えられる。学校生活で当たり前に行われている学級会や生徒会活動での物事の決め方「多数決」や生徒会の役員を決める方法「選挙」が国の政治と関連することも意識されてはいない。授業以外でこの単元の内容にかかわる情報を得るのが、ほとんどの場合、新聞やテレビなどのメディアをとおしたものであり自分から目を向けること

は少ない。「一つ一つの用語の意味をとらえるのが難しい内容」なのは、学習する対象が、大人社会のものであること、加えて国家レベルの機関の組織やその働きなので、語句そのものの意味を感覚でとらえにくく、意味がわからないのでとらえにくいと考えられる。この単元では、これらの状況を改善する必要がある。

これらのことから、自分の生活に置き換えてとらえさせ、内容がわかりやすくなる教材を作成して活用すること、画像で情報を得られる教材、選挙に関係する項目を盛り込んだ教材を用いて指導することが、積極的に理解しようとする意欲を持たせるのに有効であると考えられる。

3 指導観

本単元では、自分たちの自由で豊かな生活が、自分たちの意思を反映する民主政治のしくみのおかげであり、積極的に政治に参加してそのしくみを守り、発展させていかなければならないということを理解させる。その際、自分や身の回りの生活に置き換えてとらえさせることで、理解を深めさせたい。

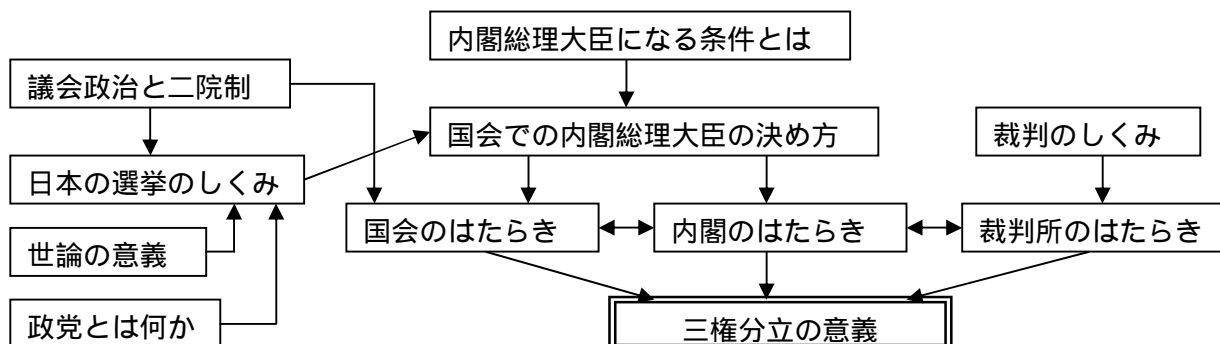
理解を深めた生徒は、我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみを自分なりの言葉で説明でき、生活や将来あるべき姿を考えるととらえる。そのようにするためには、学習を進めるに当たって、自分や身の回りの生活とのかかわりをとらえさせ、生徒の学習に対する意欲を喚起する必要がある。また、「一つ一つの用語の意味をとらえるのが難しい内容」であることをできるだけ解消したい。

そのために、我が国の政治にかかわる組織のしくみやはたらき、人々の様子と生徒会活動の様子を画像で表示するマルチメディア教材を開発し、活用することで、用語の意味をわかりやすくさせ、自分の生活に置き換えてとらえさせたい。また、国民が主権者であり、政治の主人公であるということをとらえさせるために、政治を進めようとする立場に立たせて考えさせていきたい。

単元の指導目標

- 1 我が国の政治のしくみや政治に参加する意義について、政治を進める立場で考えたり、自分や身の回りの生活に置き換えてとらえながら調べたり、考えたりしようとする態度を育てる
- 2 我が国の政治のしくみやその取組、政治参加の現状について、そのよさや課題点を考察し、自分の考えをまとめる力を育てる
- 3 我が国の政治のしくみやその取組、政治参加の現状について、必要な資料を検索したり、比較したりして、説明に活用できる力を育てる
- 4 我が国の政治の組織やしくみ、そのしくみを守り発展させるための積極的な政治参加の必要性を、自分や身の回りの生活に置き換えてとらえさせながら理解させる

単元の教材構造



単元の指導計画と配当時間

時	主 題 名	学 習 内 容
1	内閣総理大臣になるための条件	内閣総理大臣は国会議員から選ばれること 国会は慎重に審議し、より国民の意思を反映できるように二院制をとっていること
2	日本の選挙の意義としくみ	選挙によって自分たちの代表を選び、その代表が政治を行う代議制（間接民主制、議会制民主主義）であること。（また、それによって国民の意思が反映されるので、自由で豊かな生活ができること） 選挙の方法は、政局が混乱しないように、また、できるだけ多くの国民の意思を反映できるように工夫して行われること
3	内閣総理大臣の指名と政党政治	選挙の立候補者は、ほとんどの場合、政策を実現するために政党という同じ考えの人が集まった組織をつくっていて、国民は、自分の考えに近い政党を選ぶことで政治に反映させていること
4		
5	世論の大切さ	選挙に参加しないことは、世論を正確に示せず、自分たちの意思を政治に反映することを放棄することであること
6	国会の働きと運営	選ばれた代表は、国会で法律をつくったり（国会は国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関である）、予算を決めたりすること。それに基づいて政治が行われること 重要な決定ができるように、また、より国民の意思を反映できるように両院の権限には衆議院の優越が認められていること 国会での決定は、少数意見を尊重しながら、多数決の原理で行われること
7		
8	内閣のはたらきと議院内閣制	政治を行う内閣は、国会で指名された内閣総理大臣によってつくり、衆議院が解散し総選挙が行われれば内閣は総辞職し、民意を反映した新しい内閣が作られる議院内閣制のしくみを採用していること
9	司法権と三権分立の意義	国会、内閣と法を守る裁判所で権力分立し、権力が濫用されるのを防ぐとともに、国民の意思が反映されるしくみになっていること
10	裁判所のしくみ	法に基づく公正な裁判によって人権が守られていること

1 本時の学習指導 (1 / 10)

1 主題 「内閣総理大臣になるための条件」

2 指導目標

日本の国会は二院制であることをふまえた上で、資料から内閣総理大臣になるための条件を読み取らせ、国会議員で、国会に指名される必要があることを理解させるとともに、総理大臣になるまでの手続きについて学習する意欲を持たせる。

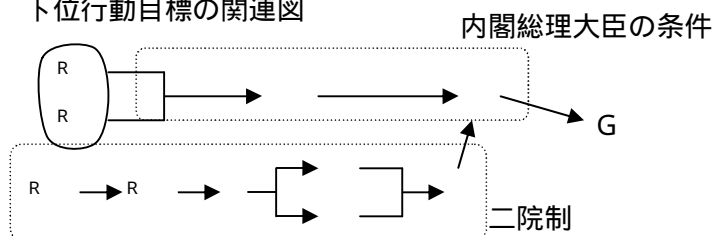
3 目標行動 (G とする)

内閣総理大臣になるための条件を、慎重に審議し、より国民の意思を反映できるように日本の国会が二院制であることをふまえて、内閣総理大臣になるための条件が国会議員で、国会に指名される必要があることを日本国憲法の条文や表の資料から読み取って説明できる。

4 下位行動目標とその関連 (R はレディネスとする)

- R 日本の政治のリーダーが内閣総理大臣であることを言える
- R 現在の内閣総理大臣の写真を見て、役職を指摘できる
内閣総理大臣になるための条件を、日本国憲法の条文から読み取り書くことができる
内閣総理大臣になるためには、文民であり、国会議員であり、国会で指名されなければならないことを説明できる
- R 国会議事堂が東京にあると言える
- R 国会議事堂の向かって左が衆議院、右が参議院であると言える
国会は、衆議院と参議院の二院制であることを資料から読み取り書くことができる
国会議員には、衆議院議員と参議院議員があることを言える
衆議院と参議院には、議員数、被選挙権の年齢、任期に違いがあることを資料から読み取り書くことができる
日本で二院制にしている理由を、ヒントをもとにして考え、説明できる

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p><導入></p> <p>1 日本の政治のリーダーを確認する R R</p> <p>2 課題把握 内閣総理大臣になるための条件を調べよう G</p>	<p>はじめ</p> <p>教材で補足 ← NO</p> <p>レディネス調査</p> <p>YES</p> <p>プレテスト</p> <p>YES</p> <p>NO</p> <p>主題の提示</p>	<p>・PC操作の注意を話す</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>・マルチメディア教材で、これから学習することをつかませシートに書かせる</p> <p>・学習課題についての予想を立てさせ、シートに書かせる</p>
	<展開>		

<p>3 調査1</p> <p>内閣総理大臣になる条件を日本国憲法の条文からさがす</p> <p>内閣総理大臣になる条件</p> <p>[評価1]</p> <p>内閣総理大臣になる条件を言えたか</p> <p>国会議員</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される条文から必要な部分を見つけ学習シートに書かせる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣総理大臣になるためには、国会議員であり国会で指名されることが条件であることを確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる 	
<p>30分</p>	<p>4 調査2</p> <p>国会には二つの議院があることをつかむ R R</p> <p>二つの院の違いをつかみ、二院制にしている理由を考える</p> <p>[評価2]</p> <p>二院制とそうしている理由を説明できたか</p> <p>国民の意思をより反映するため</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料から必要な部分を学習シートに書かせる <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料をヒントに考えさせシートに書かせる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被選挙権の年齢や選ばれ方に違いがあり、慎重に審議することで国民の意思が反映されることを確かめる
<p>10分</p>	<p><まとめ></p> <p>5 ポストテスト G</p> <p>内閣総理大臣になるための条件は（国会議員） 国会は（国民の意思をより反映するため二院制）</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告（選挙について）</p>		<p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の課題の答えを二院制をふまえた上で確かめながら学習内容をまとめて書かせる <p>マルチメディア教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想・自己評価を記入させ送信させる

2 本時の学習指導 (2、3 / 10)

1 主題 「日本の選挙の意義としくみ」

2 指導目標

グラフ、画像、図から日本の選挙のしくみを読み取らせ、その方法の工夫や選挙の意義を考えさせ、国民主権が選挙により実行され、国民の意思を反映できるように工夫されていることを理解させる。そして、選挙権を大切にしようとする態度を育てる。

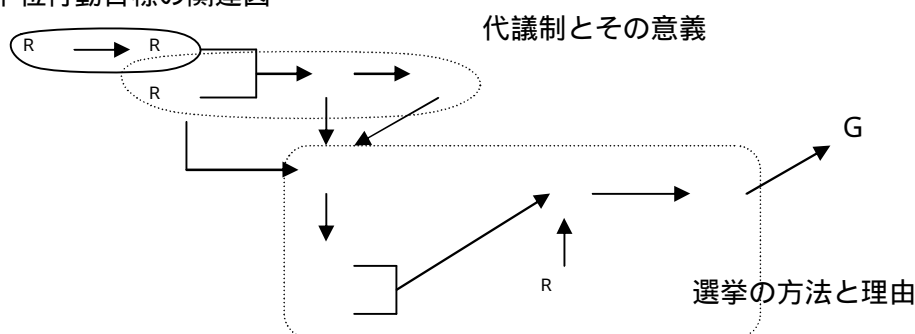
3 目標行動 (Gとする)

日本は代表者が政治を行う代議制のしくみを採っているので、選挙が国民の意思を反映する重要なものであり、できるだけ正確に国民の意思を反映できるように選挙制度が工夫されていることを説明できる。

4 下位行動目標とその関連 (R はレディネスとする)

- R 内閣総理大臣は国会議員から選ばれることを思い出して言える
- R 国会議員になるためには、選挙で選ばなければならないことを指摘できる
- R 主権者は国民であることを思い出して言える
- 主権を実行する方法は代議制であることを言える
- 代議制とは何か説明できる
- 主権者である自分たちの代表を選ぶのだから選挙が重要であることを説明できる
- 国民の代表を選ぶのだから、選挙の方法は様々な工夫がされ行われていることを説明できる
- R 選挙権、被選挙権の条件を言える
- 代表を選ぶときは、国会議員以外にも選挙を行うことがよくあることを指摘できる
- 日本の衆議院議員選挙、参議院議員選挙はどのような方法で行われているのか説明できる
- 日本の衆議院議員選挙を例に、なぜ二つの方法を用いているかを説明できる

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p><導入></p> <p>1 国会議員になる方法を考える R R</p> <p>2 課題把握 日本の選挙はどのような方法かを調べよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・総理大臣は国会議員でなければならないことを思い出させる ・選挙の方法を意義と方法を問う学習シート ・これから学習することをつかませシートに書かせる ・学習課題についての予想を立てさせ、シートに書かせる
	<展開>		

<p>3 調査1 選挙の意義を考 える^R 代議制の意味を つかみながら選挙 の意義を説明する</p> <p>[評価1] 選挙の意義を 説明できたか 国民権の実行</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート ・マルチメディア教材で示され る資料を参考にして考え、学 習シートに書かせる</p> <p>ホワイトボード ・国会議員は主権者である自分 たちの代表であり、それを選 ぶことが主権の実行にあたる ので選挙が重要だと確か める</p> <p>学習シート ・確かめた内容を記入させる</p> <p>・問答法により既習事項の確認を する</p> <p>マルチメディア教材・学習シート ・マルチメディア教材で示され る資料から必要な部分を学 習シートに書かせる</p> <p>マルチメディア教材・学習シート ・マルチメディア教材で示され る資料をヒントに考えさせ シートに書かせ発表させる</p> <p>ホワイトボード ・より正確に国民の意思を反映 し、政局を安定させるため に、選挙の方法が工夫されて いることを確かめる</p>	
<p>80 分</p>	<p>4 調査2 日本の選挙のし くみをつかむ 選挙権、被選挙権^R 小選挙区選挙 比例代表選挙 選挙区選挙</p> <p>選挙の方法の理由</p> <p>[評価2] 選挙の方法と それを用いて いる理由を説 明できたか 政局を安定させな がら国民の意思を 反映する</p>	<p>マルチメディア教材・学習シート ・マルチメディア教材で示され る資料から必要な部分を学 習シートに書かせる</p> <p>マルチメディア教材・学習シート ・マルチメディア教材で示され る資料をヒントに考えさせ シートに書かせ発表させる</p> <p>ホワイトボード ・より正確に国民の意思を反映 し、政局を安定させるため に、選挙の方法が工夫されて いることを確かめる</p>	
<p>10 分</p>	<p><まとめ> 5本時のまとめG 選挙は国民権を実行す る手段。日本の選挙の方 法は3種類で政局を安定 させながら国民の意思を 反映させようとしている。 6 学習の感想と 自己評価と次時 の予告(政党に ついて)</p>		<p>学習シート ・今日の課題の答えを確かめな がら学習内容をまとめて書 かせる</p> <p>マルチメディア教材 ・感想・自己評価を記入させ送 信させる</p>

3 本時の学習指導 (4 / 10)

1 主題 「内閣総理大臣の指名と政党政治」

2 指導目標

内閣総理大臣の指名の方法を多数決の原理という視点で読み取らせ、政策を実現させるためには政党が必要であることを理解させるとともに、現在あるそれぞれの政党の考え方に興味を持たせる。

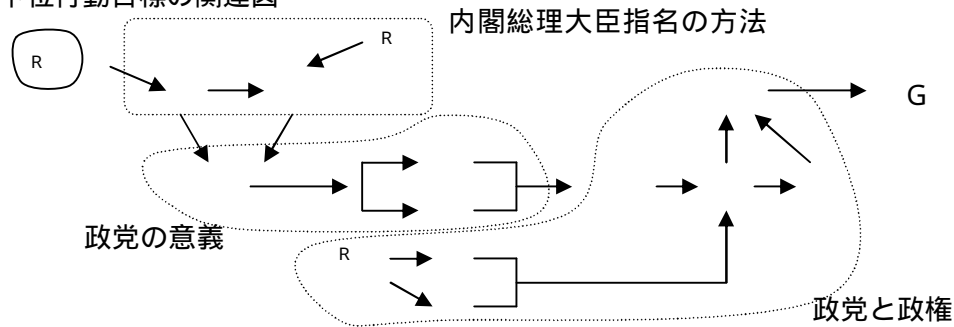
3 目標行動 (Gとする)

政策を実現するためには政党という組織が必要であり、国民は自分の考えに最も近い政党を選ぶことで、国会議員、さらに内閣総理大臣を選び自分の意思を反映することになることを説明できる。

4 下位行動目標とその関連 (R はレディネスとする)

- R 日本の国会が二院制であることを思い出して言える
- R 内閣総理大臣は国会で指名されることを思い出して言える
- 内閣総理大臣は、国会で多数決によって指名されなければならないことを説明できる
- 衆議院、参議院で違う指名をしたときは、最終的に衆議院の議決になることを指摘できる
- 個々バラバラでは、内閣総理大臣になり政策を実現するのは難しいことを指摘できる
- 政党とは何のための組織かを説明できる
- 一定の政策を実現するためには、政権を取る必要があることを指摘できる
- 政権を取るためには、同じ考えの仲間を集めた政党が必要であることを指摘できる
- R 有権者(国民)は、選挙で代表を選ぶことを思い出して言える
- R 有権者(国民)は、ある程度まとまった意見・政策から自分に近いものを選ぶことで、自分の意思を国政に反映できることを説明できる
- 国民の意思が一つだけにまとめられるのは難しいということを指摘できる
- 二党制、多党制の意味を言える
- 与党、野党がどんな立場の政党かを日本の主な政党を例に言える
- 与党になれるということが、自分たちの政策を実現する内閣総理大臣を指名できることにつながることを説明できる

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p><導入></p> <p>1 総理は国会で指名されることを思い出す^R</p> <p>2 課題把握 内閣総理大臣になれるのはどんな国会議員かを調べよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・総理は国会議員の中から国会で指名されることを思い出させる マルチメディア教材・学習シート ・これから学習することをつかませシートに書かせる ・学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる

<p>30分</p>	<p><展開> 3 調査1 総理大臣の指名のされ方を調べ、 どういう人が指名されるか考える R [評価1] 総理指名の方法とその条件を言えたか 多数決で勝つこと 4 調査2 政党の意義を調べる [評価2] 政党の意義を説明できたか 政治を安定させ、国民意思を反映できる 5 調査3 日本の主な政党を例に政党と政権の関係を調べる R [評価3] どんな政党が与党になれるかを説明できたか 国民の支持を集め国会で多数議席をとった政党</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート ・マルチメディア教材で示される資料で総理指名方法を調べ、それをもとに考えを学習シートに書かせる ホワイトボード ・総理は多数決の原理で指名されるので確実に総理になるためには組織が必要なことを確かめる 学習シート ・確かめた内容を記入させる マルチメディア教材・学習シート ・マルチメディア教材で示される資料から考え、学習シートに書かせる ホワイトボード ・政治を安定させ、国民の意思が反映するには政党が必要なことを確かめる 学習シート ・確かめた内容を記入させる マルチメディア教材・学習シート ・マルチメディア教材で示される資料から調べ、考えさせ、シートに書かせる ホワイトボード ・政権を持つ与党とそれを批判する野党があり、与党になるには国民の支持を集める必要があることを確かめる。それが総理指名につながることも確かめる。</p>
<p>10分</p>	<p><まとめ> 5 本時のまとめ G 総理になれるのは、国会で多数を占める与党の代表である 6 学習の感想と自己評価と次時の予告(世論について)</p>		<p>学習シート ・今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる マルチメディア教材 ・感想・自己評価を記入させ送信させる</p>

4 本時の学習指導 (5 / 10)

1 主題 「世論の大切さ」

2 指導目標

国民の意思を政治に反映させるための方法を考えさせ、世論を形成し示すことが重要であることを理解させ、将来選挙に積極的に参加したり、マスコミによる情報に対して自分の考えを持ったりする意欲を持たせる。

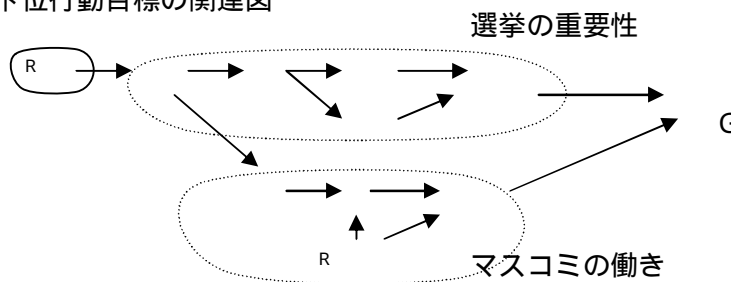
3 目標行動 (Gとする)

世論を形成し示す主な方法として、選挙やマスコミによる情報があることを調べ、その内容から、自分たちの意思を政治に反映するためには世論を形成し生かすことが大切であることを説明できる。

4 下位行動目標とその関連 (R はレディネスとする)

- R 政治に対する自分たちの意見を表現する方法を自分なりに考え、話すことができる
 - 世論の意味を説明できる
 - 世論をあらわす最も重要な方法が選挙であることを指摘できる
 - 国政選挙の投票率が下がってきていることを資料から指摘できる
 - 選挙に行かない人の理由を資料から指摘できる
 - 選挙権を放棄することは主権を放棄することになり、国民の意思が正確に政治に反映されないという問題点を説明できる
 - 世論をあらわす他の手段として、マスコミの働きを指摘できる
 - マスコミとは何かを説明できる
- R 過去に情報を操作されたり制限されたりした例をあげることができる
 - 表現の自由を守ること、モラルを守ることや受け取る側が正しい判断力を身につけることの大切さを説明できる

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
	<p><導入></p> <p>1 国民の意思はどのくらい反映されているか R</p> <p>2 課題把握 国民の意思を反</p>	<p>はじめ</p> <p>教材で補足</p> <p>NO</p> <p>レディネス調査</p> <p>YES</p> <p>プレテスト</p> <p>YES</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の意思を表明する方法を考えさせる 学習シート ・これから学習することをつかませシートに書かせる ・学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる

10分	映する大切さを考えよう		
30分	<p><展開></p> <p>3 調査1 世論を表す最も重要な方法である選挙が生かされているか考える</p> <p>[評価1] 世論形成における選挙の重要性を説明できたか 国民の意思を反映する最も重要な方法</p> <p>4 調査2 マスコミの働きを調べ、注意すべきことを確かめる</p> <p>R</p> <p>[評価2] マスコミの働きを説明できたか 広く早く情報を伝え、政治に強く影響を与える</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料で選挙の投票の現状を調べ、それをもとに考えを学習シートに書かせる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙が世論を形成し、国民の意思を政治に反映する最も重要な方法であることを確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料から考え、学習シートに書かせる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の意思が反映する世論の形成にマスコミが大きく影響していることを確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる <p>マルチメディア教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の画面をみながら、報道の自由、受け取る側の心構えを確かめる
10分	<p><まとめ></p> <p>5 本時のまとめ G 世論を選挙やマスコミで形成することが政治に反映するために重要である</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告（法律を作るについて）</p>		<p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる <p>マルチメディア教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想・自己評価を記入させ送信させる

5 本時の学習指導 (6、7 / 10)

1 主題 「国会のはたらきと運営」

2 指導目標

国会は国の唯一の立法機関であり、法律を作ったり、予算を議決したりすることやその過程を資料から読み取らせ、多数決の原理を用いていることと衆議院の優越を認めていることを理解させる。また、多数決を用いる際の留意事項及び衆議院の優越の理由を考えさせる。

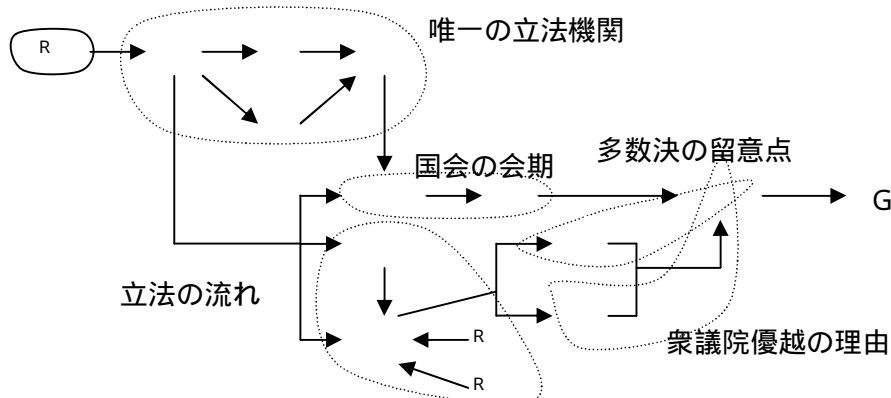
3 目標行動 (Gとする)

国会は国で唯一法律を作れる機関であり、その決定には多数決の原理が用いられていることとその留意事項、衆議院の優越が用いられていることとその理由を説明できる。

4 下位行動目標とその関連 (R はレディネスとする)

- R 現代の社会が法律というルールの中で秩序を保っていることを思い出して言える
- 国会が国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることを説明できる
- 国民の代表者による組織なので、最高機関と位置づけられていることを言える
- 立法機関の意味を言える
- 唯一の立法機関ということが、国会でしか法律を作れず、他の干渉を受けないことであると説明できる
- 法律を作成することができる時期や期間を言える
- 国会には、常会、臨時会、特別会があることを言える
- 法律がどのようにして作られるか説明できる
- 法律案を提出するのが内閣か国会議員であることを言える
- 委員会で話し合った後本会議で話し合い決定するというおおまかな流れが言える
- R 決定の仕方は、内閣総理大臣の指名の学習をもとに、多数決の原理を用いることを指摘できる
- 多数決の原理を用いるとき少数意見を大切にしなければならないことを説明できる
- R 両院での議決が違った場合、内閣総理大臣の指名の学習をもとに、衆議院の優越を用いることを指摘できる
- 衆議院の優越を用いる理由を説明できる

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p><導入></p> <p>1 国を動かすルールについて考える^R</p> <p>2 課題把握 法律はどこでどのようにして作られるか調べよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・社会の秩序を保つためにルールが必要であることを思い出させる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから学習することをつかませシートに書かせる ・学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる
	<p><展開></p> <p>3 調査1 国会が国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であるという意味を考える</p> <p>[評価1] 法律作成における国会の役割を説明できたか 国民の代表、唯一の立法機関</p> <p>4 調査2 どのようにして法律が作られるか確かめる ・時期・期間</p> <p>[評価2] 国会の会期が言えたか 常会150日、臨時会、特別会は話し合い ・作成の流れ</p> <p>[評価3] 法律成立の大まかな流れを説明できたか 案提出、議決の仕方^{R R}</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料で憲法第41条を調べ、それをもとに考えを学習シートに書かせる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の代表者という国会の立場と唯一法律を作れる機関であることを確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料から国会の種類ごとに調べ、学習シートに書かせる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常会、臨時会、特別会それぞれの会期を確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる <p>マルチメディア教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の画面をみながら、法律成立までの流れを確かめる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律案の提出、委員会、本会議の大まかな流れを確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる

<p>80分</p>	<p>・ 多数決の原理の留意事項 [評価4] 少数意見の尊重の必要性を言えたか 数の暴力になってはいけない</p> <p>・ 衆議院の優越の必要性 [評価5] 衆議院の優越の理由を説明できたか 解散があり国民の意思をより反映できる</p>		<p>マルチメディア教材 ・教材の画面をみながら、多数決の原理を用いるときの留意事項を考える</p> <p>ホワイトボード ・少数意見の尊重の必要性を確かめる</p> <p>学習シート ・確かめた内容を記入させる</p> <p>マルチメディア教材 ・教材の画面を参考にして、衆議院が優越される理由を考える</p> <p>ホワイトボード ・国民の意見をより反映でき、重要な議決ができるようにしていることを確かめる</p> <p>学習シート ・確かめた内容を記入させる</p> <p>マルチメディア教材 ・再度、法律成立までの流れをマルチメディア教材で確かめる</p>
<p>10分</p>	<p><まとめ> 5 本時のまとめ G 政治を行うには法律や予算が必要。それは、国会で会期中に、多数決の原理用いて決められる。その時、衆議院の優越が認められている。</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告（内閣について）</p>		<p>学習シート ・今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる</p> <p>マルチメディア教材 ・感想・自己評価を記入させ送信させる</p>

6 本時の学習指導 (8 / 10)

1 主題 「内閣のはたらきと議院内閣制」

2 指導目標

内閣のはたらき、内閣と国会の関係を資料から読み取らせ、日本は内閣と国会は連帯して責任をもちながら政治を進める議院内閣制であることを理解させる。そして、間接的に国民が内閣を決めていることに気づかせ、選挙を大切にする気持ちを高める。

3 目標行動 (G とする)

政治を行う内閣は、国会で指名された内閣総理大臣によって作られ、衆議院が解散し総選挙が行われれば内閣は総辞職し、民意を反映した新しい内閣が作られる議院内閣制のしくみを採用していて、国民が間接的に決めているということを説明できる。

4 下位行動目標とその関連 (R はレディネスとする)

R 成立した法律案のほとんどは内閣が提出したものであることを思い出して言える
内閣は、内閣総理大臣とその他の国务大臣で構成されていることを説明できる

R 内閣総理大臣は国会議員でなければならないことを思い出して言える
国务大臣は内閣総理大臣によって任免されることを説明できる
国务大臣の過半数は国会議員でなければならないことを説明できる
内閣も間接的に国民が選んでいることを指摘できる
内閣は行政権をもっていることを説明できる
行政の意味を言える

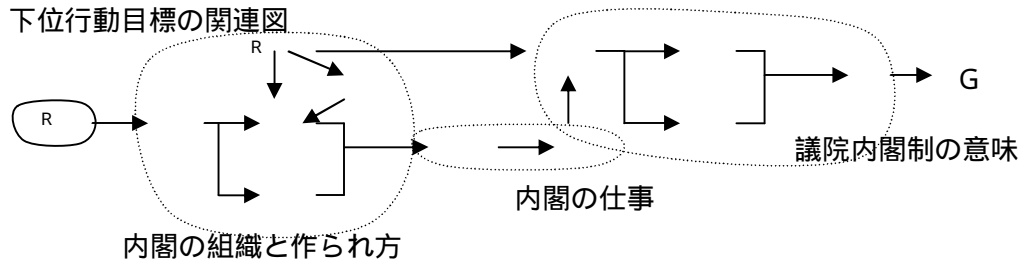
国会と内閣の関係を資料をもとに図にまとめることができる (総理指名、衆議院解散、国政調査、内閣不信任決議)

国会で内閣不信任案が可決又は信任案が否決されると内閣は衆議院を解散しない限り総辞職しなければならないことを説明できる

衆議院を解散しても、内閣は最終的に総辞職することを説明できる

日本では、主権者である国民の意思を代表する国会の信任に基づいて内閣が作られ、内閣は国会に対して連帯して責任を負う議院内閣制のしくみが用いられていることを説明できる

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p>< 導入 ></p> <p>1 法律案提出について思い出す R</p> <p>2 課題把握 内閣とは何でどんな働きをしているのか調べよう</p>	<p>はじめ</p> <p>教材で補足</p> <p>レディネス調査</p> <p>YES</p> <p>プレテスト</p> <p>NO</p> <p>主題の提示</p>	<p>・ほとんどの法律案の提出をしていたのが内閣であることを思い出させる</p> <p>学習シート</p> <p>・これから学習することをつかませシートに書かせる</p> <p>・学習課題についての予想を立てさせ、シートに書かせる</p>

<p>30分</p>	<p><展開></p> <p>3 調査1 内閣の構成とどのように組織されるかについて調べる R</p> <p>[評価1] 内閣の組織と作られ方が説明できたか 総理大臣と国務大臣</p> <p>4 調査2 内閣の仕事を調べる</p> <p>[評価2] 内閣の仕事が言えたか 行政権</p> <p>5 作業と調査 国会と内閣の関係を図にし、関係をまとめる</p> <p>[評価3] 議院内閣制の意味を説明できたか 連帯して責任を持つ</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料を調べ、それをもとに学習シートに書かせる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣総理大臣と国務大臣で構成され、国務大臣は総理が任免することを確認める <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料から内閣の権力、主な仕事を調べ学習シートに書かせる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政権があり、法律、予算を実行に移すことを確認める <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる <p>マルチメディア教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の画面をみながら、国会と内閣の関係を確かめる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議院内閣制の意味を確認める <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる
<p>10分</p>	<p><まとめ></p> <p>5 本時のまとめ G</p> <p>内閣は内閣総理大臣とその他の国務大臣で構成され、行政権を持つ。国会と連帯して責任を持ち、これを議院内閣制という</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告(三権分立について)</p>		<p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の課題の答えを確認しながら学習内容をまとめて書かせる <p>マルチメディア教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想・自己評価を記入させ送信させる

7 本時の学習指導 (9 / 10)

1 主題 「司法権と三権分立の意義」

2 指導目標

日本は内閣と国会と司法権を持つ裁判所で権力を分立していることを資料から読み取らせ、濫用されるのを防ぎ、国民の意思を反映した政治が保たれるようになっていることを理解させる。そして、自分たちの権利を守るために政治に参加しようとする態度を育てる。

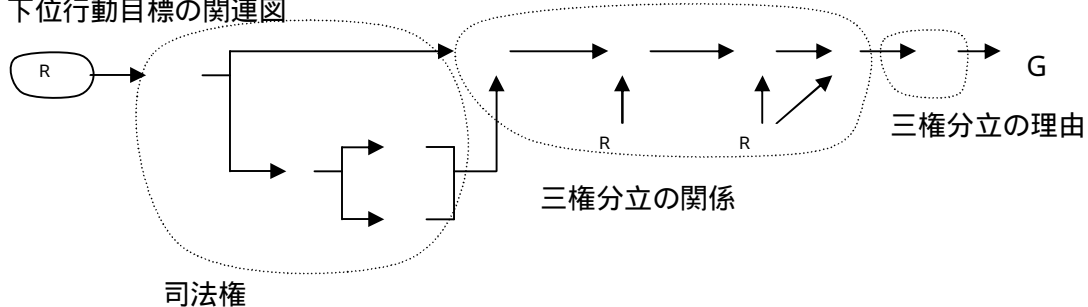
3 目標行動 (Gとする)

日本は内閣と国会と司法権を持つ裁判所で権力を分立していることを図示し、それをもとに三権分立によって権力が濫用されるのを防ぎ、国民の意思を反映した政治が保たれるようになっているということを説明できる。

4 下位行動目標とその関連 (R はレディネスとする)

- R 権利が侵された場合、保障される権利があることを思い出して言える
資料を見ながら、立法、行政の他に司法が国の権力として必要だと指摘できる
司法権は、裁判所が持っていることを言える
裁判所には、最高裁判所と下級裁判所があることを言える
裁判は、三審制のしくみがとられていることを説明できる
司法権は、権利を侵されたときそれを補償したり、犯したものを罰したりする権力であることを言える
違憲立法審査権という、憲法に違反した法律が作られたときそれを取り消させる権力が裁判所にあることを説明できる
- R 権力の分立をはじめに考えた人物がモンテスキューである思い出して言える
- R 国会と内閣の関係を思い出して言える
国の権力を立法、行政、司法の三つに分けていて、それぞれ国会、内閣、裁判所がもっていて、三権分立ということを説明できる
三権の関係を資料を参考にして図示できる
権力の濫用を防ぎ、国民の権利を守るという権力を分けている理由を考えて言える

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
	<p><導入></p> <p>1 権利の保障を思い出し司法権の必要性をとらえる R</p> <p>2 裁判所が司法権をもっていることを確かめる</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・権利の保障について、人権の学習を思い出させる マルチメディア教材・学習シート ・国の権力に司法権が必要なことと意味を、マルチメディア教材の資料からとらえる

<p>20分</p>	<p>[評価1]</p> <p>司法権の意味とそれをもつ場所を言えたか 権利を保障する権力、裁判所</p> <p>3 三権分立という語句の確認 R</p> <p>4 課題把握 なぜ権力を分けるのか考えよう</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材の資料から、司法権を持っているのが裁判所だととらえる <p>マルチメディア教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三権分立という語句を確かめ、モンテスキューについても確認する <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから学習することをつかませシートに書かせる ・学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる
<p>20分</p>	<p><展開></p> <p>3 作業 三権の関係を図に書く R</p> <p>[評価2]</p> <p>三権の関係を図示できたか。</p> <p>4 調査 なぜ、権力を分立しているのか考える</p> <p>[評価3]</p> <p>三権分立の理由が言えたか 権力の濫用を防ぎ、人権を守るため</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料とこれまでの学習をもとにシートに書かせる <p>マルチメディア教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つの関係を正しく書けているか教材で示しながら確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の図と資料から三権分立の理由を考え、学習シートに書かせる <p>ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権力の濫用を防ぎ、国民の権利を守り、意思が国政に反映されるようになっていることを確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる
<p>10分</p>	<p><まとめ></p> <p>5 本時のまとめ G</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告(裁判のしくみについて)</p>		<p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる <p>マルチメディア教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想・自己評価を記入させ送信させる

8 本時の学習指導 (10/10)

1 主題 「裁判のしくみ」

2 指導目標

裁判には、犯罪に対するものともめごとに関するものがあり、それぞれ方法に違いがあることを資料から読み取らせながら、日本は法に基づく公正な裁判によって人権が守られていることを理解させる。また、裁判員制度を紹介し、一般人も裁判の判決にかかわるしくみができることから身近さを感じ取らせる。

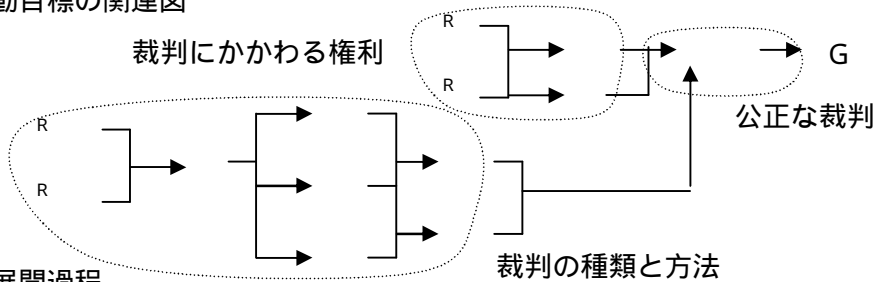
3 目標行動 (Gとする)

日本の裁判には民事裁判、行政裁判、刑事裁判があり、それぞれが扱う内容や裁判の方法に違いがあることを図から読み取り説明することができるとともに、裁判は公正に人権に配慮しながら行われているということを自由権の学習を想起しながら説明できる。

4 下位行動目標とその関連 (R はレディネスとする)

- R 日本国憲法で公正な裁判を受ける権利があるがあることを思い出して言える
- R 日本国憲法で自由権として黙秘権、自白だけでは証拠にならないことが認められていると思い出して言える
- R 司法権は、裁判所が持っていることを思い出して言える
- R 司法権は独立しており、裁判官は良心と法にのみ従い裁判をすることを思い出して言える
- 裁判には、民事裁判、刑事裁判、行政裁判という種類があることを資料から読み取って言える
- 民事裁判は、もめごとでどちらの訴えが正しいかを判断する裁判であると説明できる
- 行政裁判は、民事裁判と同じような方法で、訴えられる相手が国や地方公共団体であると説明できる
- 刑事裁判は、事件が起こったときに被告人が犯人であるかどうか、犯人である場合どのような罰を与えるかを判断する裁判であると説明できる
- 民事裁判と刑事裁判の方法の違いを図から読み取って言える
- 行政裁判では、国民と行政機関が対等の立場で裁判を受けられると説明できる
- 裁判では、弁護士を依頼して助けを受けることができることを説明できる
- 裁判のしくみは、国民の権利を守るためのものであり、慎重、公正に行われるようにされていることを指摘できる
- 裁判員制度が新しく設けられることから裁判が身近なものになることを指摘できる

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p><導入></p> <p>1 司法権について思い出す R R</p> <p>2 課題把握 裁判はどのように行われているのか調べよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・司法権は裁判所にあり、独立して行うことを思い出させる 学習シート ・これから学習することをつかませシートに書かせる ・学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる

<p>30分</p>	<p><展開></p> <p>3 調査1 裁判の種類とどのような違いがあるかについて調べる</p> <p>[評価1] 裁判の種類と違いが説明できたか 民事、刑事、行政裁判。対象、判決、立場</p> <p>4 調査2 裁判に関わる権利を確かめる R R</p> <p>[評価2] 裁判に関わる権利が言えたか 黙秘権、裁判を受ける</p> <p>5 話し合い 裁判を慎重にしている理由を考える</p> <p>[評価3] 裁判を慎重にしている理由を説明できたか 公正で慎重な裁判をし、国民の権利を守るため</p>		<p>教科書の図・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民事、刑事裁判の内容を示した図を調べ、それをもとに学習シートに書かせる <p>黒板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もめごとに関する民事裁判、事件に関する刑事裁判、国等を相手にする行政裁判があることを確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる <p>教科書の図・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア教材で示される資料から内閣の権力、主な仕事を調べ学習シートに書かせる <p>黒板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黙秘権などの自由権、裁判を受ける権利があることを確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる <p>教科書・資料集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁判の方法や与えられている権利を振り返りながら確かめる <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめた内容を記入させる ・裁判員制度について話す
<p>10分</p>	<p><まとめ></p> <p>5 本時のまとめ G 国民の権利を守りなおかつ公正な裁判を行うために、裁判の方法が工夫されている。</p> <p>6 単元のまとめ 日本は国民の権利を守るための政治のしくみがつくりられており、これを大切にしていかなければならない。</p> <p>7 学習の感想と自己評価と次時の予告（経済の学習）</p>		<p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる <p>黒板・学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめを全員で確認する <p>学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想・自己評価を記入させ送信させる